

平成23年一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター
農林センター茶業研究所

1. 摘採日

(摘採期)

仕立て法	本年	前年	前5か年	平年
自然仕立て	5月11日	5月6日	5月7日	5月7日
弧状仕立て	5月13日	5月8日	5月8日	5月7日

注) 平年は、平成6年～平成22年までの17年間の平均値

2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	610.9 ± 48.5	99	586.5 ± 65.8	95	616.7 ± 72.4	100
弧状仕立て	396.2 ± 105.2	118	367.3 ± 96.8	110	334.8 ± 57.9	100

注) 本年は自然仕立て園の摘採日が雨天であったため、脱水後の収量を記載した。

指数は前5か年平均を100とした場合の比。

3. 百芽重 (g)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	重量	指数	重量	指数	重量	指数
自然仕立て	38.5 ± 2.5	75	49.7 ± 4.6	97	51.0 ± 4.9	100
弧状仕立て	44.9 ± 7.1	85	55.2 ± 14.4	105	52.7 ± 9.6	100

4. 新芽数 (本/m²)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	1107.0 ± 144.6	195	772.8 ± 116.0	136	569.0 ± 95.1	100
弧状仕立て	1788.3 ± 528.5	122	1385.0 ± 370.0	94	1468.3 ± 328.0	100

注) 自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

5. 出開き度 (%)

仕立て法	本年	前年	前5か年平均
自然仕立て	43.9	34.0	43.8
弧状仕立て	76.8	70.0	56.6

6. 概要

(1) 摘採日

本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園が5月11日で前年より5日、前5か年平均より4日遅かった。弧状仕立て園は5月13日で、前年、前5か年平均よりともに5日遅くなった。

(2) 生葉収量

10a当たりの生葉収量は、自然仕立て園が610.9kgで前5か年平均並みであった。弧状仕立て園が396.2kgで前5か年平均より多かった。

(3) 病害虫の発生状況

チャノホソガのフェロモントラップ誘殺数は平年と比較して少なかった。チャノコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺数は3月から4月第5半旬までは少なかったが、4月第6半旬から摘採期の5月第2半旬までは平年と比較して増加した。

(4) 周辺茶園の状況

全農京都茶市場への出荷量は、前年比で煎茶92%、かぶせ茶92%、玉露79%の状況。てん茶は製茶期間中である。(6月7日現在)